

岐阜県支部

岐阜県郡上市の観光による地域振興についての調査・研究

近年、観光振興に対する期待が高まり、国の施策として21世紀の進路『観光立国』の浸透を宣言し、“ビジット・ジャパン・キャンペーン”が実施されつつある。

このような中で、平成16年3月1日に発足した岐阜県郡上市は、日本そして岐阜県のほぼ中央に位置し、旧郡上郡の7町村が合併して生まれた新都市である。

当市の近隣には、先進観光都市の高山市や世界文化遺産の白川郷を控え、観光面では強力なライバルでもある。しかし、当市においても国の重要無形民俗文化財の郡上踊り、白山国立公園、長良川県立自然公園に属し、県内でも自然環境と歴史・文化に恵まれた地域で、交通アクセスもほぼ完成の東海北陸自動車道と中部縦貫自動車道等の高規格幹線道路の開通により、中部圏に加えて首都圏・関西圏とも短時間で結ばれる好立地にあり、観光面では有利な条件にある。

そこで、このたび当地域の観光の現状を調査分析し、訪れる観光客の意識を確認するとともに、今後、観光都市としてのあるべき姿や課題を探るとともに、観光による地域振興の具体的な方策をまとめたものである。

内容は4部に分かれ、第1章 郡上市の概要では、市の概要と観光動向、第2章 郡上市における観光の実態では、ブロック別の観光マップとともに、観光施設等経営実態と経営者の意識調査及び観光客の意識調査を実施して調査結果を分析し、郡上市観光の課題として観光客の受け入れの環境整備、誘客のための観光資源の開発、地域観光情報の発信(広報)を抽出した。

第4章の郡上市の観光振興では、基本構想として郡上市観光振興のコンセプトを「郡上三彩自然劇場」とし、広い郡上市をゾーニングによる地域特徴を抽出し、共通点について重点的な振興策を提案するとともに、地域特性を生かした観光振興について提言を行ったものである。

具体的には、郡上市のホワイトゾーンは、日本の最南端のスキーリゾート地であり、立地の優位性を生かした国際的スキーリゾートを目指す。次に、今日、中高年の健康志向を反映して盛況なハーフマラソンのイベント開催。観光客の調査から最も多く提案された温泉の要望に応える形でのレトロバスによる温泉めぐり。観光施設経営者による高い関心は、郡上市内の旅館の活性化である。さらに、先進観光都市でみられる人力車に代わる観光地めぐりに、環境にやさしい自転車タクシーによる遊覧を挙げる。

最後に、当市では歴史ある民宿を活用した、体験型観光グリーンツーリズムの強化と、受け入れ態勢の整備を行うとともに、都会人の第二の故郷ともなるような滞在型の農園への発展も視野に入れたものにする。

以上、これらの提案が郡上市の観光振興の一助になれば幸甚に思う。